

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 右近 八郎
 ガバナー補佐 海老原 三博
 会長 斎藤 孝裕
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度
地区スローガン

ロータリーの
誇りを
楽しもう!

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋
 RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

1月は職業奉仕月間

第25回 [3141] 例会報告 令和6年(2024) 1月18日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	26名
欠席会員	10名
出席率	72.22%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 斎藤孝裕 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 川又康彦 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 伊藤俊憲 職業奉仕委員

◆お客様紹介

第2530地区ロータリーの友地区代表委員 相良元章 様 福島RC

.....lunch time.....

◆会長の時間



今日はゲストにロータリーの友地区代表委員の相良様をお迎えしました。本当にありがとうございます。よろしくお願いいたします。それでは、今後のスケジュールについて、親睦旅行は日程が変更となり、出欠に関しまして、2月8日をめぐにご回答いただきたいと思っております。一人でも多くのご参加をお願いいたします。来月の夜間例会は、摺上亭大鳥さんにお世話になるように予定しました。吉川屋さんには大々的にお世話になっておりますが、今後の会員増強なども含め、今年度あえて、摺上亭大鳥さんに同条件でやらせていただくことになりました。こちらもご参加をお願いいたします。今後、皆さんに諮ってからの話ですが、例えば昼の例会をパ



ロータリーソング



四つのテスト

ルセいいざかささんなどを利用し、お弁当だけでやってもいいのかなと、いろいろ趣向を変えながら、飯坂の中を広く「ロータリークラブ」という名前前で利用させていただくのも一つかなと思ひ、今後は渡辺プログラム委員長さんとも話しながら詰めてまいりますので、よろしくお願いいたします。最後に、前回は皆様をお願いをさせていただきましたが、改めてご紹介申し上げますと、現在の役職は富山県氷見市観光協会会長の松原様より依頼があった案件です。能登半島地震の被害者救援ということで依頼があり、今回は、はっきりとした形での窓口の案内が来ましたので、皆様をお願いいたしました。すでに千葉さんからお水の提供をいただくようになりましたし、皆様からいろいろお話をいただいております。また、義援金という形が多分どんな状況に変化しても間違いのない支援の仕方かなと思ひます。責任を持ってお届けしますし、領収書という形も取っていただけるそうです。ロータリークラブの名前もちろん出させていただきます。各個人企業さんのお名前も出させていただきますつもりであります。大変勝手ながら、27日の土曜日に日帰りで私が届けにあがるように段取りをしているところで、当日のセミナーは申し訳ありませんが、渡辺さんに代わりをお願いいたします。

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 来信

- ①ガバナー 右近八郎 氏より
「2023-24年度『マスコミ懇談会』開催の案内」
とき 2月7日(水) 13:30~16:00
ところ ユラックス熱海
- ②ガバナーエレクト 早川敬介 氏より
「クラブ情報と会員データの登録のお願いについて」

表彰・受賞



PHF (22-23年度) 鈴木正実 会員 PHF (23-24年度) 渡辺哲也 会員

◆第2回阿久津肇「寛容塾」の報告 西山友幸 委員長

昨年になりますが、郡山のユラックス熱海で第2回の寛容塾が開かれ、お話を聞いてきました。福島ロータリークラブの過去ガバナーであります阿久津肇先生が『どうする職業奉仕』という演題で講義をしていただきました。その中で印象に残ったことをお話ししたいと思います。一つ目、ロータリー会員は自己の職業スキルを通して、地域や社会、及び人に奉仕することが大事である。二つ目、より多く奉仕をした者はより多く報いられる。イノベーションを行うには「健康であること」「希望を持つこと」「寛容の精神を持つこと」、おそらくこの辺から寛容塾という名前がついたのかと思ひます。三つ目、一方的な奉仕ではなく「自分良し 相手良し 世間良し」の「近江商人の三方良し」の気持ちで奉仕することが大事であると力説されておりました。以上です。

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計43s】

斎藤 孝裕 会員 5 s	ゲストに相良様をおむかえして…。本日はお出でいただき、ありがとうございます。
島 隆章 会員 5 s	ゲストに相良様をお迎えして&早退おわび
西山 友幸 会員 5 s	妻にパースデーの花束ありがとうございます。
千葉 政行 会員 3 s	・相良様をお迎えして ・丹野星愛（せな）ちゃんが女子駅伝でまたまた活躍しました。
鈴木 正実 会員 3 s	明けましておめでとうございます。久しぶりの参加、相良さまのお話楽しみです。
川又 康彦 会員 3 s	相良様、スピーチ楽しみにしております。
紺野 容樹 会員 3 s	ゲストに相良様をおむかえして
鈴木 重忠 会員 3 s	前回欠席おわび
佐藤 真也 会員 2 s	相良元章様をゲストにお迎えして
高倉 怜 会員 1 s	相良様、スピーチ楽しみにしております。本日はよろしくお願ひいたします。

◆ゲストスピーチ

国際ロータリー第2530地区ロータリーの友地区代表委員 相良元章 様



今日は飯坂ロータリークラブにお招きいただきましてありがとうございます。今年度、ロータリーの友地区代表委員を務めます相良です。よろしくお願ひいたします。今日は『読んでますか！ロータリーの友』ということで、赤いタオルをかけさせていただきました。「元気ですか!」ということでもあります。「友を読めば何でもわかる」というところで、今日は友について、トリビア的な知識も含め、皆様にご紹介したいと思っております。

1952年7月に、それまで日本は一つのロータリーであったのが、西と東の二つに分かれました。その時にお互いの情報交換をしたいということがあったようで、翌年の1953年1月に友は創刊されました。当時にしては珍しく、この雑誌は全部横書きだったそうです。今現在は、横書きの方はどちらかというとR I 関係の記事が多く載っているような形で、縦書きの方はどちらかというとクラブや地域、そういったところの記事が多く載っている構成になっています。ロータリーの友は、国際ロータリーから認可を受けた雑誌です。R I の認可を受けるためには「R I が指定した記事を必ず載せること」「国際ロータリーの方針を伝えること」「年6回以上発行すること」「雑誌の内容の50%以上がロータリー関係であること」「読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること」「R I の資金援助を受けずに経済的に自立すること」の6つの項目があります。資料写真がありますので、ご覧いただきたいと思ひます。これは例会場の写真ですが、時計に〇〇ロータリークラブとよくあるパターンがあります。しかし、実はこちらはどちらも公式の写真としては使えない写真です。理由はロータリークラブのロゴですが、実は歯車単体で使えないということがR I で決められています。このロータリーのロゴの使い方もロータリーの友に載っています。電子版は何が良いかという、検索の機能が非常に充実しています。例えば「飯坂RC」で検索します。私が検索した限りで、1954年9月号にロータリアン経営の旅館名簿というのが友に載っていました。そして、いよいよ出てくるのが1958年7月号にロータリー告知板というのがあり、新クラブに飯坂ロータリークラブがあります。読むと「飯坂（第350区・福島県）6月5日承認 会員数30名 例会日土曜日 例会場事務所花月 会長 鈴木文七 幹事後藤寿二」と、新クラブの設立のお知らせが載っています。奉仕活動の記録もいくつか残っておりますのでご紹介いたします。1962年11月号に「飯坂RCは青少年補導のため“愛の鐘”を市に贈った 飯坂RC幹事 本間輝男」と書いてあります。また、飯坂ロータリークラブのバナーについて、1969年9月号で紹介されています。1983年5月号では「1月7日福島北RCの交換留学生メリッサさん（豪州）を初釜に招待した。彼女は桜の聖母女子高校で茶道クラブに所属しており、日本の思い出の一つとして、ぜひ茶会の雰囲気を感じたいと申し出ていた」という記事が載っています。当時は全部の記事に英語の説明文も載っていました。1990年12月号では「みこしを担いで国際交流会 福島県飯坂」、10月5日に国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂」を行ったという記事があります。同じく、国際交流フェスティバルについて、1992年2月号パート2ということで「地域在住の外国人、インターアクト会員など約80人が参加、国際交流に一役買うと共に、地域住民からも大変喜ばれロータリーへの理解も深めた」と橋本博道さんが記事を書かれています。また、1999年9月号では「放った種火が広まった」という記事には「飯坂ロータリークラブが寄贈したチャイルドシート、ベビーシートをもとに始められた無料貸し出し事業が好評で、大きな波紋が広がった」と書いてあります。全国にもそういう動きが広がっていつているとあります。飯坂ロータリークラブがロータリーの友に最大に掲載された記事は、2018年1月号で「クラブを訪ねて」という記事で「伝統の神輿で和の国際交流、いで湯の町の“熱き”クラブ」と紹介をされています。4ページにわたり、たくさん取り上げられており立派だと思います。最後に、友の記事からも見えてくる飯坂ロータリークラブならではの奉仕活動と云えば、やはり、伝統文化、地域資源、伝統文化と異文化国際交流の掛け合わせの事業が、このクラブは素晴らしいということを改めて感じます。



私が何を申し上げたいのかということ、ぜひ飯坂クラブも投稿しましょうという呼びかけです。小さい記事でも何でもいいのです。俳句でも感想でもいいですので、ぜひ飯坂ロータリークラブの足跡を残していきませんかというお願ひです。そして、頑張っって後輩に今の飯坂ロータリークラブを伝えることをしてみませんかというお願ひです。ロータリーの友はDEIの推進にも取り組んでいます。今年度の友の表紙は、障害者のアートを取り上げています。ロータリーの友は、現在のロータリー同士の友情を育むだけではなく、ロータリアンの過去と現在、そして、未来の絆を繋ぐのではないかと考えています。友をもっと身近にご活用いただければというお願ひです。本日、友のスピーチはこれにて終了いたします。ご清聴ありがとうございます。

◆閉会点鐘 会長

【ロータリーの友電子版パスワード】
ID : 2530-00257
パスワード : 257-242